

氏名	高 松 正 武
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博 甲 第 1212 号
学位授与の日付	平成 6 年 3 月 25 日
学位授与の要件	医学研究科外科系泌尿器科学専攻 (学位規則第 4 条第 1 項該当)
学位論文題目	尿路移行上皮癌における血液型抗原のFlow-Cytometryによる定量的解析に関する研究
論文審査委員	教授 赤木 忠厚 教授 中山 睿一 教授 工藤 尚文

### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

flow-cytometry (FCN) を用い、膀胱癌細胞の細胞表面糖鎖抗原、特に血液型抗原 (BGA) 定量化のため手法の開発を試みた。表在性尿路移行上皮癌の 22 症例を対象に、摘出した新鮮生標本を 2 分割し、一方はホルマリン固定後、ABC法による免疫組織染色を行ない、他方はFCMによる解析に用いた。

FCMによる解析法は、検体を単離化した後、第 1 抗体として抗BGAマウスモノクローナル抗体 (DAKO) を加え、次にFITC標識抗マウス抗体 (DAKO) とpropidium iodide (PI) の混合溶液を加え、30分間反応させた。この検体をFACStar (Becton Dickinson) により解析した。FSCとFL2 (PI) のdotplot上で、有核細胞集団に対しgatingし陽性率を算出した。同一症例における固形組織と浮遊細胞につき、従来の免疫組織染色とFCMによる陽性率とを比較検討したところ、免疫組織染色とFCMによる陽性率は、高い相関関係が認められた。検者の主観により染色程度を判断する従来の免疫組織染色と比較して、FCMを用いることにより定量的、客観的な判定が可能となった。

### 論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究はフローサイトメトリーを用いた膀胱移行上皮癌の血液型抗原定量化のための手法を開発したもので、本法は免疫組織染色の結果とよく相関し、血液型抗原の定量的、客観的解析を可能にしたものとして価値ある業績を認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。